

夏期には判かりづらい。山地から沢水が流れ、この水を利用して水田が作られた。現在道路となっている一帯を含めて発祥地であった。北側の山林が冷風を防いでくれたことであろう。

集落の後方は、以前軽種馬を育成していた農家があり、その牧草地があったため現在畑になっているが、それ以外は転作畑が少ない水田地帯である。現況調査は2001年7月11日と8月25日。関連内容は126～127ページにも記してある。



鶺川町「鶺川稲作発祥之地」標柱



手前の道路用地を含めて発祥地であった、左手向うは畑地に続いて水田地帯



集落の左手山林を除いて周囲は水田が広がっている、道路の奥の方が発祥の地